

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町 21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862

知的障害者通勤寮 拓心館

児童デイサービス「はあと」完成!

私たち拓心館グループでは、障がいがある方たちの「働きたい」という思いに応える為に、長く就労・生活支援活動を行ってきました。障がいがある方たちの「働く」「暮らす」のお手伝いをしてきた中で、幼少期からの適切な関わり大切さを感じ、拓心館と同じ敷地内に児童デイサービス「はあと(定員十名)」を平成二十一年六月一日、開所致しました。

児童デイサービス事業とは、障がいがあるお子さんが普段の生活に必要な動作を身につけることや集団生活への適応を目指し、一人ひとりのお子さんの成長に合わせて療育を行うことを目的とした事業です。一人ひとりに合わせた関わりを行う為、児童デイサービス「はあと」では、自閉症部門を設けることとなりました。更に①身辺自立／②お手伝い(家事活動)／③人とのやり取りの仕方を身につけることの三点を大切に考え、お子さんと関わっていきたくと考えます。

「はあと」という名前には、皆が手をつないで支えていけるような地域になっていきたくという願いが込められ

ています。ご家庭をはじめとして、お子さんを取り巻く様々な機関とのつながりを大切にしていきたいという思いです。

私たち拓心館グループは、地域の皆様の力をお借りしながら、将来の豊かな生活をイメージし、「今」の育ちを大切にしたい関わりをしていきたいと思っています。



ご利用相談、お問い合わせは左記に
お願いいたします。

【児童デイサービスはあと】

〒036-11321

青森県弘前市大字熊嶋字亀田184-1

TEL (0172) 82-5780

FAX (0172) 82-5781

特別養護老人ホーム **サンアップルグループ**
青葉輝く、津軽路を歩く
ユニットケア報告①

サンアップルホームでは、利用者一人ひとりが、生き生きとしたその人らしい生活をするために、より個性を重視したユニットケアを行っています。馴染みの職員が、利用者の皆さんと一緒に日常生活を行なうとともに、行事、外出を一緒に計画していきます。今回は、五月九日(土)に行なわれた、津軽路ロマン国際ツアーデーマーチの参加について、ご紹介します。

これまでは、利用者の皆さんが参加する行事やイベントは、年間計画に定められる「施設全体での行事」が大半でした。ユニットケアが進むにつれて、ユニット毎の独自の計画「ユニット行事」が増えてきています。今回のツアーデーマーチへの参加も、その一つであり「馴染みの関係」があつてこそ実現したものです。

サンアップル一行は(利用者二名、職員六名) 大会参加にあたり「カイゴレンジャー」というチーム名を付けました。介護(カイゴ)とヒーロー戦隊の〇〇レンジャーを組み合わせた造語です。予想していなかった新聞社からの取材(特集記事が陸奥新



報紙面に掲載)も受け、気持ちも高まったところで、いざ本番です。

私たちは、『追手門広場〜五重塔〜弘前公園〜追手門広場』の五キロコースに挑みました。雲ひとつない晴天の下、揃いの黄色い半纏の一行は、時間をかけてゆつくりと歩きました。地元で育った利用者の方は、道中「この角を曲がれば、店がある。」



「この場所には、昔学校があつた。」など、立ち寄る所々で昔話に花が咲き、さらに歩みが遅くなります。他の参加者より、大幅に遅れてのゴールとなりましたが、最後まで全員無事に完歩することができました。

「ユニットが一つの家庭」であり、一緒に計画し、共に地域で暮らし、同じ時を過ごす。それが、ユニットの意気込みです。

身体障害者療養施設 **山郷館**
好評! 『頭の体操』

デイサービスセンターのサービス内容では、送迎・入浴・食事・趣味活動・機能訓練・外出訓練・行事などが思い浮かぶのではないのでしょうか。山郷館デイサービスセンターでは、三年程前より「頭の体操」を取



り入れていきます。内容は、今、流行の漢字の読み書きや熟語、数字合わせ、間違い探しなどですが、簡単なようでむずかしく、わかっているようでわからない問題に熱中してしまい、いつしか利用者の皆さんに好評となつていきます。体を動かす訓練と頭を働かす訓練のどちらも心身の活性化に有効です。漢字の書き取りは、手指の動作訓練にもなります。「物忘れをしなくなった、記憶力が良くなった、物事に集中できるようになった。」など、利用者の方から声が多く聞かれています。



この頭の体操は、年齢、障がいに関係なく、誰でも気軽に出来る、効果も期待できます。さあ、あなたもチャレンジしてみてください。

身体障害者授産施設 旭光園

自治会主催 「ゲーム大会」

旭光園を利用されている利用者の方で組織する自治会の主催のゲーム大会が行われました。日ごろ作業で忙しい毎日

を送っている方々の労をねぎらい、利用者間の交流を深めようと企画・運営されている行事の一つです。オセロや麻雀・将棋など定番に加え、今年

は新たなゲームも登場しました。それは、ピンボールゲームとカローリングゲームです。二つのゲームは、全員が集まり楽しむことができました。

ピンボールゲームは、ボーリングに似ていて、手のひらサイズのボールを転がしピンを倒すゲームです。「それー行け!」、「外れろー」、「ボールを真っ直ぐに!」など、と身を乗り出し、結果を見つめていました。カローリングゲームは、氷の上で



行うカーリングが、床で行えるように、小さな車輪がついたストーンを的に入れるゲームです。「ストライク!」、「もう少し強く。」など声援を送ったり、緊張するプレーヤーの仕草、独特な動きに笑いが上がったりし会場が大いに沸きあがりました。

最後は、景品ゲットの輪投げ大会で盛り上がり、皆さん、楽しく過ごすことができました。

主催者の自治会では、「短い時間でしたが皆さん喜んでくれました。ゲームの内容や対戦の組み合わせを決めるのが大変でしたが、喜んでいくところを見ると、今後も続けていきたいと思えます。」と、会長はじめ役員の方が話してくれました。

身体障害者授産施設 山郷館くろいし

山郷館総合支援センター 黒石の活動紹介

センターが活動を開始してから早、半年。

開設当初は、黒石の緑町から引越してきた地域活動支援センター『キャンパス』の利用者がほとんどで一人当たりの占有面積

が広く感じられたものですが、この半年の間に新しい仲間を迎えて、活動も活気がみなぎってきました。

車椅子の利用者が多い生活介護事業では廃材の竹を利用してエコを意識した「自分の箸」作りに精を出しています。

働くことを目的として作業訓練をしている利用者は、作業種目のクリーニングや清掃作業に汗を流し、合間に縫製の練習をするなど意欲的に活動を行っています。

午後になると日中一時支援を利用してきている子供たちが迎えの車で帰ってきて宿題や遊びに夢中です。開始してから間もないセンターで



はありますが、相談支援を通して得られるさまざまな困難と向き合い、必要な支援に柔軟に対応していくセンターでありたいと考えています。センターの活動を充実させていくことはもちろんですが、利用者と共に明日に向かってステップアップを目指します。

センターでは、地域の方々の交流を目的に、広報紙『山郷館総合支援センター黒石だより』で案内して毎月四回の料理教室を開催しています。

是非一度、お立ち寄りください。広報紙をご希望の方もご連絡をいただければ郵送させていただきます。お待ちしております。

山郷館総合支援センター黒石
TEL (0172) 88-5018

知的障害者更生施設 拓光園

拓光園には椎茸班、石鹸班、腐葉土班、軽作業班等の作業班があり日々生産活動を行っています。その成果を皆さんに紹介しようとして毎年弘前市文化センターで「手作り作品展」を開催しています。

利用者の皆さんが一生懸命作成した手芸、陶芸作品、干し椎茸、リサイクル石鹸、腐葉土などを展示販売しています。

毎年多くのお客様が訪れています。中には心温まる言葉をかけてくれたり、販売品とは別口で注文をしてくれたりと好評を博しています。

さて今年も弘前市文化センターで七月二日から同展を開催することとなりました。どうぞ皆様御誘い合わせの上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。多数のご来場をお待ちしています。

○拓光園手作り作品展

日時

七月二日(十二時～十六時)

七月三日(九時三十分～十六時)

七月四日(九時三十分～十二時)

場所

弘前市文化センター一階美術展示室

社会福祉法人 七峰会 平成20年度 決算報告書

これは、平成21年5月8日～19日に法人監査を行い、平成21年5月27日に評議会の同意を得て、同日理事会において承認されたものです。尚、閲覧は法人本部事務所にて可能です。

貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

事業活動収支計算書 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

資金収支計算書 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位：千円)

(単位：千円)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	1,232,782	流動負債	148,755
固定資産	3,665,114	固定負債	63,520
基本財産	2,120,380	負債の部合計	212,275
その他の固定資産	1,544,734	純資産の部	
		基本金	573,005
		国庫補助金等特別積立金	573,533
		その他の積立金	1,070,231
		次期繰越活動収支差額	2,468,852
		(うち当期活動収支差額)	288,114
		純資産の部合計	4,685,621
資産の部合計	4,897,896	負債の部及び純資産の部合計	4,897,896

勘定科目	金額
事業活動収入	2,143,280
事業活動支出	1,853,749
事業活動収支差額	289,531
事業活動外収入	148,048
事業活動外支出	147,173
事業活動外収支差額	875
経常収支差額	290,406
特別収入	194,113
特別支出	196,405
特別収支差額	△2,292
当期活動収支差額	288,114
前期繰越活動収支差額	2,555,291
当期末繰越活動収支差額	2,843,405
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	5,586
その他の積立金積立額	380,139
次期繰越活動収支差額	2,468,852

勘定科目	金額
経常活動収入	2,251,205
経常活動支出	1,838,886
経常活動資金収支差額	412,319
施設設備等収入	6,010
施設設備等支出	122,018
施設設備等資金収支差額	△116,008
財務活動収入	8,586
財務活動支出	388,244
財務活動資金収支差額	△379,658
当期資金収支差額合計	△83,347
前期末支払資金残高	1,160,195
当期末支払資金残高	1,076,848

脚注 1. 減価償却費の累計額 1,983,473 千円
2. 徴収不能引当金の額 0 千円

注記 1. 棚卸資産については、資金収支計算より除く。 7,179 千円

総合支援

障害者支援

特別養護老人ホーム

居宅介護支援事業

- 青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター ☎4524
- 弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター ☎2400
- 弘前市委託事業 弘前市北部地域包括支援センター ☎2100
- 黒石市委託事業 山郷館総合支援センター黒石 ☎5018

- 主に知的
- 拓心館 ☎4520
 - グループホームケアホーム(14ヶ所) 生活自立訓練事業 勇心学園
 - 就労サポートひろさき
 - 生活介護・就労継続支援B型エイブル 児童デイサービス
 - 拓光園 ☎2331
 - 通所利用事業
 - 拓光園短期入所支援センター
 - 拓光園障害児デイサービスセンター
 - 日中一時支援事業所
 - 共同生活介護事業所

- 主に身体
- 山郷館 ☎2211
 - 身体障害者(児)短期入所事業
 - 山郷館デイサービスセンター
 - 山郷館デイサービスセンター弘前
 - 山郷館デイサービスセンターくれよん
 - 山郷館地域活動支援センターくれよん
 - 山郷館訪問介護センター
 - 旭山郷館 ☎3070
 - 旭光園 ☎5155
 - 通所他障害者利用事業
 - 旭光園身体障害者短期入所事業
 - 福祉ホームさわら

- サポートセンターわかば ☎1165
- 弘前市大字若菜2丁目15 ☎1165
- 認知症グループホームわかば ☎2131
- デイサービスセンターわかば ☎2131
- サンアップル在宅介護支援センター ☎2131
- サンアップルホーム ☎2111
- サンアップル短期入所生活介護センター ☎2111
- サンアップルホームデイサービスセンター ☎3758
- サンアップルヘルパーセンター ☎2778
- 認知症グループホームアップル ☎2013
- 認知症デイサービスセンターじよい ☎2013

- 山郷館居宅介護支援センター ☎2941
- サンアップル居宅介護支援センター ☎2131